

検査内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、2019年3月末をもちまして、大腸がんリスク検査「コロジック」及びすい臓がんリスク検査「パナシー」の検査受託中止に伴い、検査内容を変更させていただきたく、ご案内申し上げます。

何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬白

記

■実施日 2019年 4月 1日(月)ご依頼分より

■変更項目および変更内容

案内書掲載頁	項目コード 統一コード	検査中止項目	備考
未掲載	4342	Cologic(コロジック)	測定委託先における検査受託中止のため。
	4343	Panasee(パナシー)	

■代替項目

項目コード 統一コード	検査項目	判断料 実施料	採取量(mL) 必要量(mL)	採取容器 提出容器	保存	検査方法	所要日数	備考
4342	Prodrome-CRC (プロドロームシーアールシー)	未保点	血液 3	01	冷	質量分析法	21日程度	1検体で2項目可能。 ご依頼の際は専用依頼書のご提出もお願いいたします。 Omn
4343	Prodrome-PAC (プロドロームピーエーシー)		血清 0.5	21				

■従来検査との違い

①マルチマーカーによる判定と評価の変更

Cologic/PanaSeeは、単マーカーで測定を行い、高リスク/低リスクの2段階で評価を行っていました。それに対し、Prodrome-CRC/Prodrome-PACは、マルチマーカーで測定を行い、高リスク/中リスク/低リスクの3段階評価で判定ができるようになりました。また、感度:90%、特異度:85%と従来より精度の高い検査となっております。

※裏面にも案内がございますので、ご覧ください。

ご不明な点等ございましたら貴院担当もしくは当社インフォメーションまでお申し付けください。

	【従来】		【代替検査】	
測定物質:	Cologic	GTA-446	Prodrome-CRC	GTA-446を含む15種類
	PanaSee	PC-594	Prodrome-PAC	PC-594を含む6種類
評価:	Cologic	2段階	Prodrome-CRC	3段階
	PanaSee	2段階	Prodrome-PAC	3段階

②%tileでの算出

日米で累計4,000名以上のデータベースを基に、長鎖脂肪酸の血中量が分布全体と比べて下位何%に相当するか(=%tile)を算出してリスク判定を行います。

Prodrome-CRC 報告書イメージ

Prodrome-CRC 大腸がんリスク検査 - 結果報告書

カルドID: 999999999999 氏名: テスト太郎 受診日: 2018/2/13 性別: 男性 年齢: 70

大腸がんリスク判定結果

Prodrome-CRCの結果、長鎖脂肪酸の値は、レベル 9 と 大腸に少なく大腸がんのリスクは **高リスク** と判定されました。

総合評価コメント

今回の検査結果では長鎖脂肪酸の値が低下しており、大腸がんのリスクが非常に高い状態であると判定されました。必要に応じて専門医の受診や精密検査の受診をご検討下さい。

検査受診後について

低リスク (レベル: 20-100)
● 健康的な生活習慣の維持
● リスク因子の低減による予防

中リスク (レベル: 11-20)
● 定期的ながん検診やリスク検査の受診 (Prodrome-CRC テストの再検査の重要) 検リスク1-2歳、中リスク 半年-1年

高リスク (レベル: 5-10)
● 医療機関とご相談の上、専門医の受診をご検討下さい。
※ 必要に応じて精密検査や一時的な検診の受診をお勧めします。

Prodrome-CRCで低・中リスク判定だった方へ...

大腸がん発症の危険性を増加させるリスク因子がいくつか報告されています。予防の第一歩として生活習慣の改善を心がけましょう。

食生活

赤身肉や加工肉(ベーコン、ハム等)の過剰摂取は大腸がんのリスクを上昇させるといわれています。

喫煙

喫煙は大腸がんの発症危険度を増加させることとされています。また、動脈硬化やその他のがんのリスク因子としても考えられています。

アルコール

アルコールを1日1杯以上摂取する方は、お酒を飲まない人に対して、2倍以上大腸がんのリスクが高まるとされています。

肥満

肥満は大腸がんの発症危険度を増加させることが報告されています。特に男性ではBMI(体格指数)が25以上の方は、それ以下の人以上比べて発症の危険性が約1.5倍と報告されています。

※スクリーン検査で対応ください

Prodrome-CRCで高リスク判定だった方へ...

本検査で高リスク判定だった方には必要に応じて専門外来の受診や精密検査の実施をおすすめしています。(下記は実施例です。)

大腸内視鏡検査

肛門から、管状のカメラを入れて、大腸全体を観察する検査方法です。

大腸sD-CT検査

X線とコンピュータを使用し大腸の画像を撮影する検査です。検査の痛みや放射線量は、CT検査に比べて低く、広がり位置で検査を行うことが可能です。

Prodrome-CRCについて

検査概要

本検査では15種類の長鎖脂肪酸(以下 GTAファミリー)と肥満の血中濃度を測定しています。これらは健康な状態から大腸がんが発症している段階で減少すると考えられています。人体では、遺伝的に過剰な炎症が生じたり、変化した細胞が蓄積することでがんが出来るのではないかと考えられています。GTAファミリーはこれらを防ぐことが出来ると考えられています。また、動脈硬化やその他のがんの発症リスクを高める可能性があると考えられています。そのためGTAファミリーの減少は、大腸がんの発症リスクを高める可能性があると考えられています。

*1 長鎖脂肪酸: 細胞を構成する物質で、その濃度や形状が正しく保たれています。

結果判定

GTAファミリーが非常に少ない場合は高リスク、やや少ない場合は中リスク、十分に存在する場合は低リスクと判定します。中リスクの場合、低リスクに比べてがんが見つかる確率が約2倍近く高くなります。高リスクの場合では、約10倍以上高くなります*2。

*2 50-59歳 男性の場合: 中リスク/検リスク = 11 倍、高リスク/検リスク = 143 倍

受診後の対応

生活習慣を改善してリスクの低減に努めるとともに、定期的な検査の受診をお勧めします。また、必要に応じて、精密検査を受けることをお勧めします。

測定・解析: PRODROME SCIENCES INC. 販売: NKMedico

Prodrome-PAC 報告書イメージ

Prodrome-PAC すい臓がんリスク検査 - 結果報告書

カルドID: 999999999999 氏名: テスト太郎 受診日: 2018/2/13 性別: 男性 年齢: 70

すい臓がんリスク判定結果

Prodrome-PACの結果、長鎖脂肪酸の値は、レベル 18 と やや減少が見られすい臓がんのリスクは **中リスク** と判定されました。

総合評価コメント

今回の検査結果では長鎖脂肪酸の値はやや低く、すい臓がんのリスクは中リスクと判定されました。必要に応じて専門医の受診や精密検査の受診をご検討下さい。

検査受診後について

低リスク (レベル: 20-100)
● 健康的な生活習慣の維持
● リスク因子の低減による予防

中リスク (レベル: 11-20)
● 定期的ながん検診やリスク検査の受診 (Prodrome-PAC テストの再検査の重要) 検リスク1-2歳、中リスク 半年-1年

高リスク (レベル: 5-10)
● 医療機関とご相談の上、専門医の受診をご検討下さい。
※ 必要に応じて精密検査や一時的な検診の受診をお勧めします。

Prodrome-PACで低・中リスク判定だった方へ...

すい臓がん発症の危険性を増加させるリスク因子がいくつか報告されています。予防の第一歩として生活習慣の改善を心がけましょう。

糖尿病

すい臓がん発症の危険性を増加させることとされています。また、動脈硬化やその他のがんのリスク因子の1つとして報告されています。

喫煙

喫煙はすい臓がんの発症危険度を約2倍に増加させることとされています。また、動脈硬化やその他のがんのリスク因子としても考えられています。

アルコール

アルコールを1日1杯以上摂取する方は、お酒を飲まない人に対して、2倍以上すい臓がんのリスクが高まるとされています。

肥満

肥満はすい臓がんのリスクを増加させることが報告されています。BMI(体格指数)が25以上の場合は、それ以下の人以上比べてすい臓がんを発症するリスクが約1.5倍と報告されています。

※スクリーン検査で対応ください

Prodrome-PACで高リスク判定だった方へ...

すい臓がん発症の危険性を増加させるリスク因子がいくつか報告されています。本検査で高リスク判定だった方には必要に応じて専門外来の受診や精密検査の実施をお勧めします。(下記は実施例です。)

超音波内視鏡

超音波装置を内視鏡の先端につけて内視鏡を用いて行う精密検査です。検査の痛みや放射線量は、CT検査に比べて低く、広がり位置で検査を行うことが可能です。

CT検査

X線とコンピュータを使用し、すい臓の画像を撮影する検査です。検査の痛みや放射線量は、広がり位置で検査を行うことが可能です。

MR(MRCP)

強力な磁場を用いて、造影剤を撮影する検査です。MRCP(胆管造影)検査はすい臓の中心部を撮影し、胆汁が流れる管を正確に観察することが可能です。

Prodrome-PACについて

検査概要

本検査では15種類の長鎖脂肪酸(以下 PACファミリー)と肥満の血中濃度を測定しています。これらは健康な状態からすい臓がんが発症している段階で減少すると考えられています。人体では、遺伝的に過剰な炎症が生じたり、変化した細胞が蓄積することでがんが出来るのではないかと考えられています。PACファミリーはこれらを防ぐことが出来ると考えられています。また、動脈硬化やその他のがんの発症リスクを高める可能性があると考えられています。そのためPACファミリーの減少は、すい臓がんの発症リスクを高める可能性があると考えられています。

*1 長鎖脂肪酸: 細胞を構成する物質で、その濃度や形状が正しく保たれています。

結果判定

PACファミリーが非常に少ない場合は高リスク、やや少ない場合は中リスク、十分に存在する場合は低リスクと判定します。中リスクの場合、低リスクに比べてがんが見つかる確率が約2倍近く高くなります。高リスクの場合では、約10倍以上高くなります*2。

*2 50-59歳 男性の場合: 中リスク/検リスク = 22 倍、高リスク/検リスク = 166 倍

受診後の対応

生活習慣を改善してリスクの低減に努めるとともに、定期的な検査の受診をお勧めします。また、必要に応じて、精密検査を受けることをお勧めします。

測定・解析: PRODROME SCIENCES INC. 販売: NKMedico